

体験して学ぼう！

金融・経済・起業

Financial Quest

# 金融クエスト

2

## チャレンジ大航海！

間接金融と直接金融のしくみを学ぼう

### —— 教授用手引書 ——

#### ●概要

商人になって航海に出るための資金調達を行う活動を通じて、間接金融と直接金融のしくみについて学びます。

#### ●ねらい(目的)

- ・直接金融、間接金融について理解すること。
- ・多くの人から資金を集める株式会社制度の特徴を理解すること。



# 使用教材

生徒用テキスト	動画	事業結果カード(2種類)
 <p>※紙媒体の場合1人1冊 ※WEBサイトにPDF有</p>	 <p>※WEBにて視聴可能</p>	 <p>(WEBワーク) ワーク1、2、3で使用。WEB上のサイコロを使えば自動計算しながらワークが可能。</p>

## 生徒用WEBサイト

<https://www.j-flec.go.jp/quest/student/02cd/>



## 動画内容

### ▶ 動画① はじめに(2分)

- ・会社が事業を行うには資金が必要である。
- ・会社の資金調達の方法には、「間接金融」と「直接金融」がある。

### ▶ 動画② ワーク①説明 チャレンジ大航海 | 間接金融(2分)

- ・ワーク「チャレンジ大航海|間接金融」の進め方を説明する。

### ▶ 動画③ ワーク①振り返り・ワーク②説明 チャレンジ大航海 | 直接金融(2分)

- ・間接金融のしくみを説明する。
- ・ワーク「チャレンジ大航海|直接金融」の進め方を説明する。

### ▶ 動画④ ワーク② 振り返り(2分)

- ・直接金融のしくみを説明する。
- ・リスクの分散の効果を説明する。

### ▶ 動画⑤ ワーク③説明 チャレンジ大航海 | 大事業(2分)






- ・ワーク「チャレンジ大航海|大事業」の進め方を説明する。

### ▶ 動画⑥ まとめ(1分)

- ・少ない額でも多くの人から集めると大きな事業ができる。
- ・会社は事業を通じて経済的な利益を追求するとともに、社会の豊かさをもたらしている。
- ・投資家が会社に投資をすることが、社会の発展につながる。

## 学習の展開

	授業の流れ	活動	指導のポイント
導入 3分	ポイント説明 動画①を視聴(2分) 生徒用テキスト:P.1	・動画の視聴 	

	授業の流れ	活動	指導のポイント
展開① 12分	<p>ワーク①説明 動画②を視聴(2分)</p> <p>個人ワーク 生徒用テキスト:P.2,3 ※サイコロを使用</p>	<p>・動画の視聴</p> <p> 動画②</p> <p>・銀行から借入れた資金を使って航海に出る。 ・船1艘ごとに1回サイコロを振る。 ・航海後の資金を計算する。</p> <p>&lt;WEBワーク&gt; チャレンジ大航海   間接金融 1人1台の端末を使う。WEB上のサイコロを使うことによってワークシートが自動計算・入力される。</p>	<p>・“G”は“ゴールド”といい、この国のお金の単位 ・銀行からの借入金は、航海の結果にかかわらず利子の支払いと併せて返済する必要があること(間接金融)を伝える ・航海の成否をサイコロで決めるのはワークを単純化するためであり、事業自体はギャンブルとは全く異なることを生徒に伝える ・最終的な持ち分は事業継続のための新たな航海資金になることを説明する ・次の航海費用がマイナスになる生徒が現れるのがポイント(次のワークとの対比)</p>
展開② 15分	<p>ワーク②説明 動画③を視聴(2分)</p> <p>グループワーク 生徒用テキスト:P.4,5 ※サイコロを使用</p>	<p>・動画の視聴</p> <p> 動画③</p> <p>・生徒はグループのメンバーと資金を出し合い、航海に出る船を話し合っ て選択する。 ・グループで、船1艘ごとに1回サイコロを振り、航海の成否を確認する。 ・航海後の資金を計算する。</p> <p>&lt;WEBワーク&gt; チャレンジ大航海   直接金融 各グループで1台の端末を使う。WEB上のサイコロを使うことによってワークシートが自動計算・入力される。</p>	<p>・最終的な持ち分は事業継続のための新たな資金になることを説明する ・直接金融で資金調達した場合、出資者は出資した金額以上の責任は問われない(有限責任)ため、結果がマイナスになることはないことを伝える ・間接金融と直接金融の特徴を理解することが目的であり、航海後の資金の多寡を競うものではないことを伝える</p>
	<p>ポイント説明 動画④を視聴(2分) 生徒用テキスト:P.5</p>	<p>・動画の視聴</p> <p> 動画④</p>	<p>・リスク・マネジメントの観点から、航海で使う船を分散して航海に出ることを伝える</p>
展開③ 15分	<p>ワーク③説明 動画⑤を視聴(2分)</p> <p>個人ワーク 生徒用テキスト:P.6,7 ※サイコロを使用</p>	<p>・動画の視聴</p> <p> 動画⑤</p> <p>・クラスのメンバーから集めた資金を使って航海に出る。 ・先生が船1艘ごとに1回サイコロを振り、航海の成否を確認する。 ・航海後の資金を計算する。</p> <p>&lt;WEBワーク&gt; チャレンジ大航海   大事業 先生の端末を使う。WEB上のサイコロを使うことによってワークシートが自動計算・入力される。</p>	<p>・投資をした生徒が株主、先生が経営者となっており、この形を「所有と経営の分離」であることを説明しても良い</p>
まとめ 5分	<p>まとめ 動画⑥を視聴(1分) 生徒用テキスト:P.7</p>	<p>・動画の視聴</p> <p> 動画⑥</p>	<p><b>ワークシートの解答</b></p> <p>P8 (上から)銀行など、投資家(間接金融上の段)選べない、負わない (下の段)必要がある (直接金融上の段)選べる、負う (下の段)必要がない、配当</p>
	<p>個人ワーク 生徒用テキスト:P.8</p>	<p>・ワークシート①を記入</p>	

## ● 解説参考

### ・ 株式会社のはじまり

世界で初めての株式会社は、1602年にオランダで設立された「東インド会社」だと言われています。そのころ、ヨーロッパでは、アジアでとれる胡椒などの香辛料を交易をしていました。

この航海には、船をしたて、船舶を雇うために多くの資金が必要でした。しかも、嵐などで航海の失敗をする危険性も高かったのです。そこで、株式を発行して多くの出資者から資金を集め、利益が出たら出資者に分配する仕組みが作られ、資金を集めやすくし、万が一、航海が失敗した時も、一人あたりの損失を小さくすることができたのです。

### ・ リスクの分散(リスク・マネジメント)

会社や個人が、活動の妨げとなるリスクをあらかじめ想定して、事前に対策を講じて発生を回避したり、避けられない場合には発生時の損失を極力少なくしたりするプロセスをリスク・マネジメントといいます。一般に、リスク・マネジメントは、「予防」「軽減」「移転」「容認」という4つの対策に分けられます。

今回の場合、複数の船を仕立てて航海に出てリスクを分散させるのもリスク・マネジメントの一つ(軽減)といえます。

### ・ 証券会社の役割

証券会社は、会社が株式などを発行するときに会社と投資家を結び付けたり、投資家から株式の売買の注文を受け付け、証券取引所につないだりする役割を担っています。

このように証券会社は会社や国、地方公共団体等の資金需要ニーズと投資家(家計など)の資金運用ニーズに応えるとともに、お金の流れを円滑化・効率化させ、持続的な経済成長を通じた社会の発展や国民生活を豊かにすることに寄与しています。

## 体験型教材「金融クエスト」の紹介

## 教授用手引書

2021年4月 発行

2023年3月 改訂

2024年8月 改訂

制作 金融経済教育推進機構

発行 株式会社 清水書院

発行者の許可なしに本テキストの内容の全部または一部を無断で複写、複製または転載することを固く禁じます。なお、これらの承諾については、金融経済教育推進機構まで、お問い合わせください。

「金融クエスト」シリーズでは、経済や金融に関する内容を、グループワークなどを通じて体験的に学ぶことができます。5つの教材はそれぞれ分けて学ぶことができるようになっています。

### ① 起業で社会的課題を解決しよう!

「投資・起業を学ぼう」

### ② チャレンジ大航海!

「間接金融と直接金融のしくみを学ぼう」

### ③ レジャーランドの経営を立て直そう!

「株式会社のしくみを学ぼう」

### ④ あなたの会社はどうなる?

「社会の変化と会社への影響を学ぼう」

### ⑤ 将来のために資金を運用しよう!

「資産形成と金融商品の特徴を学ぼう」